

中高生から見た ネットとフェイク

静岡県立掛川工業高等学校

中高生から見た「3つの視点」

- ◆ 防衛の視点
- ◆ 共有の視点
- ◆ 教育の視点



防衛の視点

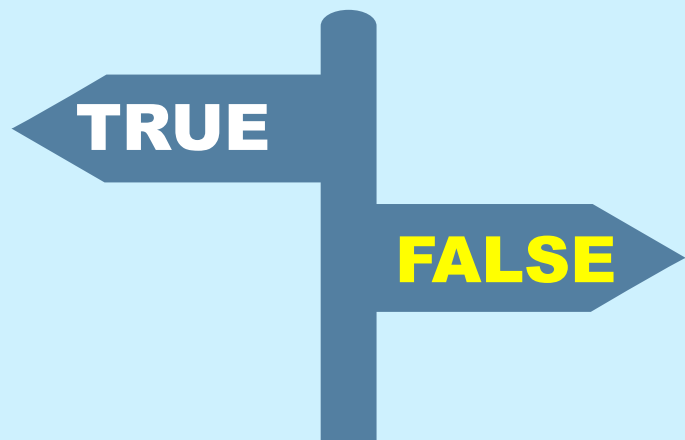


情報のソースをネットだけに頼りがちになってしまう。
共通のデータソースがあるという「同調圧力」。

何故か？ ↓

同年代、同じ立ち位置の人の「書き込み」。
ネットの利便性が非常に高い。

共有の視点



ネット上の偽情報、真偽の判別の出来ない物事に
惑わされる(詐欺被害)。

何故か? ↓

使用者のネットリテラシーが低い。

教育の視点



ウイルス感染やデータの破損、フェイクニュースへの
対応を誤る人が居る。

何故か？ ↓

それらに遭遇したことがないから。

知識、理屈のみで、実際に処理できないから。

3つの視点を踏まえての「提言」

- ▶多くのサイト、本等でデータを吟味する。可能であれば、実証、反証を行う。
- ▶信用できる団体が(政府など)公認マークや、検知アプリなどを作成し、情報の裏付けを行う。
- ▶教育の場において、擬似的にフェイクサイトを使用する、ウィルスにかかってみるなどの実践的な指導を行う。
- ▶ネットの有用性として、「情報を調べることが可能」、「情報の即時性」があげられる。